

## 第2節 市民意識調査結果に見る現状

市民意識調査では、調査1の「市民一般調査」、調査3の「日常生活圏域ニーズ調査（①自立者）」、調査4の「日常生活圏域ニーズ調査（②要支援・総合事業対象者）」、調査5の在宅介護実態調査（要介護以上）及び調査6「障がいのある人等（18歳以上）」において権利擁護関係の設問を5問設けて、調査を実施しました。また、調査8の「支援団体等調査」においても権利擁護関係のヒアリング項目を3問設けて、ヒアリングを実施しました。

### 1 入院・入所の際に頼れる人の有無

市民意識調査で入院や施設に入所しなくてはならない場合に頼れる人がいるかどうか尋ねたところ、「いない」が全体で16.2%、高齢者全体で16.5%、高齢者（要支援者）で19.0%、障がい者（18歳以上）で17.0%となっております。（表5-1-1）

高齢者について、世帯類型別で見ると、「いない」の割合は、単身世帯が他世帯よりも約10ポイント高くなっています。（表5-1-2、表5-1-3）

障がい者について、手帳の種類・診断名別で見ると、「いない」の割合は、発達障がいの診断を受けている方や精神障害者福祉手帳を持っている方が他の手帳をお持ちの方や他の診断を受けている方より高くなっています。（表5-1-4）

表5-1-1 入院・入所の際に頼れる人の有無

		回答者数	いる	いない	わからない	無回答
全体	人数	1,528	1,103	248	122	55
	構成比		72.2%	16.2%	8.0%	3.6%
市民	人数	240	165	34	39	2
	構成比		68.8%	14.2%	16.3%	0.8%
高齢者(計)	人数	924	699	152	38	35
	構成比		75.6%	16.5%	4.1%	3.8%
自立者	人数	291	234	52		5
	構成比		80.4%	17.9%		1.7%
総合事業対象者	人数	67	53	11		3
	構成比		79.1%	16.4%		4.5%
要支援者	人数	248	186	47		15
	構成比		75.0%	19.0%		6.0%
要介護者	人数	318	226	42	38	12
	構成比		71.1%	13.2%	11.9%	3.8%
障がい者(18歳以上)	人数	364	239	62	45	18
	構成比		65.7%	17.0%	12.4%	4.9%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

表5-1-2 入院・入所の際に頼れる人の有無

【日常生活圏域ニーズ調査 世帯類型別】

		回答者数	いる	いない	無回答
全体	人数	608	473	112	23
	構成比		77.8%	18.4%	3.8%
単身世帯	人数	183	130	46	7
	構成比		71.0%	25.1%	3.8%
夫婦のみ世帯	人数	220	178	31	11
	構成比		80.9%	14.1%	5.0%
息子・娘との2世帯	人数	81	67	13	1
	構成比		82.7%	16.0%	1.2%
その他	人数	111	91	18	2
	構成比		82.0%	16.2%	1.8%
無回答	人数	13	7	4	2
	構成比		53.8%	30.8%	15.4%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

表5-1-3 入院・入所の際に頼れる人の有無

【在宅介護実態調査 世帯類型別】

		回答者数	いる	いない	わからない	無回答
全体	人数	318	226	42	38	12
	構成比		71.1%	13.2%	11.9%	3.8%
単身世帯	人数	73	49	17	6	1
	構成比		67.1%	23.3%	8.2%	1.4%
夫婦のみ世帯	人数	108	77	14	11	6
	構成比		71.3%	13.0%	10.2%	5.6%
その他	人数	136	100	11	21	4
	構成比		73.5%	8.1%	15.4%	2.9%
無回答	人数	1	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

表5-1-4 入院・入所の際に頼れる人の有無

【障がいのある方・難病のある方調査 手帳の種類・診断名別】

		回答者数	いる	いない	わからない	無回答
全体	人数	364	239	62	45	18
	構成比		65.7%	17.0%	12.4%	4.9%
身体障害者手帳を持っている	人数	101	69	17	7	8
	構成比		68.3%	16.8%	6.9%	7.9%
愛の手帳を持っている	人数	126	84	17	15	10
	構成比		66.7%	13.5%	11.9%	7.9%
精神障害者保健福祉手帳を持っている	人数	79	40	21	14	4
	構成比		50.6%	26.6%	17.7%	5.1%
自立支援医療を受給している	人数	88	54	21	10	3
	構成比		61.4%	23.9%	11.4%	3.4%
発達障がいの診断を受けている	人数	8	5	3	0	0
	構成比		62.5%	37.5%	0.0%	0.0%
高次脳機能障がいの診断を受けている	人数	1	0	0	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
難病の診断を受けている	人数	64	50	7	5	2
	構成比		78.1%	10.9%	7.8%	3.1%
無回答	人数	11	6	2	2	1
	構成比		54.5%	18.2%	18.2%	9.1%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

## 2 お金のやりくりに対する不安

市民意識調査で介護や医療でお金が必要になった場合のお金のやりくりに対する不安があるかどうか尋ねたところ、全体では「ある程度ある」の割合が最も多くなっており、障がい者（18歳以上）では「とてもある」の割合が最も多くなっており、（表5-2-1）

年代別で見ると、市民一般では、20歳代及び50歳代は「とてもある」が最も多くなっていきます。（表5-2-2）高齢者（自立者・総合事業対象者・要支援者）では、いずれの年代でも「ある程度ある」が最も多くなっていきます。（表5-2-3）高齢者（要介護者）では、70～74歳は「とてもある」が最も多くなっていきます。（表5-2-4）障がい者では、10歳代で『ある』（「とてもある」と「ある程度ある」とを合わせた割合をいいます。）の割合が85.7%となっております。（表5-2-5）

手帳の種類・診断名別で見ると、発達障がいの診断を受けている方で『ある』の割合が100%、精神障害者保健福祉手帳を持っている方で84.8%となっております。（表5-2-6）

表5-2-1 お金のやりくりに対する不安

		回答者数	とてもある	ある程度ある	あまりない	まったくない	無回答
全体	人数	1,528	455	660	305	71	37
	構成比		29.8%	43.2%	20.0%	4.6%	2.4%
市民	人数	240	74	116	42	7	1
	構成比		30.8%	48.3%	17.5%	2.9%	0.4%
高齢者(計)	人数	924	232	419	208	43	22
	構成比		25.1%	45.3%	22.5%	4.7%	2.4%
自立者	人数	291	70	126	78	12	5
	構成比		24.1%	43.3%	26.8%	4.1%	1.7%
総合事業対象者	人数	67	16	32	14	2	3
	構成比		23.9%	47.8%	20.9%	3.0%	4.5%
要支援者	人数	248	51	126	48	15	8
	構成比		20.6%	50.8%	19.4%	6.0%	3.2%
要介護者	人数	318	95	135	68	14	6
	構成比		29.9%	42.5%	21.4%	4.4%	1.9%
障がい者(18歳以上)	人数	364	149	125	55	21	14
	構成比		40.9%	34.3%	15.1%	5.8%	3.8%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

表5-2-2 お金のやりくりに対する不安【市民一般調査 年代別】

		回答者数	とてもある	ある程度ある	あまりない	まったくない	無回答
全体	人数	240	74	116	42	7	1
	構成比		30.8%	48.3%	17.5%	2.9%	0.4%
20歳代	人数	19	10	7	2	0	0
	構成比		52.6%	36.8%	10.5%	0.0%	0.0%
30歳代	人数	28	12	13	3	0	0
	構成比		42.9%	46.4%	10.7%	0.0%	0.0%
40歳代	人数	46	15	22	8	1	0
	構成比		32.6%	47.8%	17.4%	2.2%	0.0%
50歳代	人数	40	18	15	6	1	0
	構成比		45.0%	37.5%	15.0%	2.5%	0.0%
60歳代	人数	28	6	18	3	1	0
	構成比		21.4%	64.3%	10.7%	3.6%	0.0%
70歳以上	人数	78	12	41	20	4	1
	構成比		15.4%	52.6%	25.6%	5.1%	1.3%
無回答	人数	1	1	0	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

表5-2-3 お金のやりくりに対する不安【日常生活圏域ニーズ調査 年代別】

		回答者数	とてもある	ある程度ある	あまりない	まったくない	無回答
全体	人数	608	137	285	140	30	16
	構成比		22.5%	46.9%	23.0%	4.9%	2.6%
65～69歳	人数	86	25	39	20	1	1
	構成比		29.1%	45.3%	23.3%	1.2%	1.2%
70～74歳	人数	85	18	44	16	5	2
	構成比		21.2%	51.8%	18.8%	5.9%	2.4%
75～79歳	人数	128	37	58	24	7	2
	構成比		28.9%	45.3%	18.8%	5.5%	1.6%
80～84歳	人数	130	33	59	26	7	5
	構成比		25.4%	45.4%	20.0%	5.4%	3.8%
85～89歳	人数	115	18	58	30	5	4
	構成比		15.7%	50.4%	26.1%	4.3%	3.5%
90歳以上	人数	58	4	27	21	4	2
	構成比		6.9%	46.6%	36.2%	6.9%	3.4%
無回答	人数	6	2	0	3	1	0
	構成比		33.3%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

表5-2-4 お金のやりくりに対する不安【在宅介護実態調査 年代別】

		回答者数	とてもある	ある程度ある	あまりない	まったくない	無回答
全体	人数	318	95	135	68	14	6
	構成比		29.9%	42.5%	21.4%	4.4%	1.9%
65歳未満	人数	9	2	3	4	0	0
	構成比		22.2%	33.3%	44.4%	0.0%	0.0%
65～69歳	人数	11	2	6	2	1	0
	構成比		18.2%	54.5%	18.2%	9.1%	0.0%
70～74歳	人数	25	11	6	5	1	2
	構成比		44.0%	24.0%	20.0%	4.0%	8.0%
75～79歳	人数	106	37	47	17	3	2
	構成比		34.9%	44.3%	16.0%	2.8%	1.9%
80～84歳	人数	89	24	41	18	4	2
	構成比		27.0%	46.1%	20.2%	4.5%	2.2%
85～89歳	人数	67	16	28	19	4	0
	構成比		23.9%	41.8%	28.4%	6.0%	0.0%
90歳以上	人数	11	3	4	3	1	0
	構成比		27.3%	36.4%	27.3%	9.1%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

表5-2-5 お金のやりくりに対する不安

【障がいのある方・難病のある方(18歳以上)調査 年代別】

		回答者数	とてもある	ある程度ある	あまりない	まったくない	無回答
全体	人数	364	149	125	55	21	14
	構成比		40.9%	34.3%	15.1%	5.8%	3.8%
10歳代	人数	7	5	1	1	0	0
	構成比		71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
20歳代	人数	46	17	21	7	1	0
	構成比		37.0%	45.7%	15.2%	2.2%	0.0%
30歳代	人数	54	26	20	4	4	0
	構成比		48.1%	37.0%	7.4%	7.4%	0.0%
40歳代	人数	100	42	26	20	7	5
	構成比		42.0%	26.0%	20.0%	7.0%	5.0%
50歳代	人数	87	28	40	10	5	4
	構成比		32.2%	46.0%	11.5%	5.7%	4.6%
60歳代	人数	48	23	11	10	2	2
	構成比		47.9%	22.9%	20.8%	4.2%	4.2%
70歳代以上	人数	19	6	6	3	2	2
	構成比		31.6%	31.6%	15.8%	10.5%	10.5%
無回答	人数	3	2	0	0	0	1
	構成比		66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

表5-2-6 お金のやりくりに対する不安

【障がいのある方・難病のある方調査(18歳以上)調査 手帳の種類・診断名別】

		回答者数	とてもある	ある程度ある	あまりない	まったくない	無回答
全体	人数	364	149	125	55	21	14
	構成比		40.9%	34.3%	15.1%	5.8%	3.8%
身体障害者手帳を持っている	人数	101	31	44	19	2	5
	構成比		30.7%	43.6%	18.8%	2.0%	5.0%
愛の手帳を持っている	人数	126	42	40	25	10	9
	構成比		33.3%	31.7%	19.8%	7.9%	7.1%
精神障害者保健福祉手帳を持っている	人数	79	49	18	7	4	1
	構成比		62.0%	22.8%	8.9%	5.1%	1.3%
自立支援医療を受給している	人数	88	47	27	7	5	2
	構成比		53.4%	30.7%	8.0%	5.7%	2.3%
発達障がいの診断を受けている	人数	8	7	1	0	0	0
	構成比		87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
高次脳機能障がいの診断を受けている	人数	1	1	0	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
難病の診断を受けている	人数	64	27	26	9	1	1
	構成比		42.2%	40.6%	14.1%	1.6%	1.6%
無回答	人数	11	4	3	2	1	1
	構成比		36.4%	27.3%	18.2%	9.1%	9.1%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

### 3 介護・介助が必要になった場合の生活場所

#### (1) 生活場所の希望の有無

市民意識調査で介護が必要になった場合に希望する生活場所があるか尋ねたところ、全体では「ある」と回答した方が39.5%と最も多く、特に高齢者（要介護者）では57.5%とその割合が高くなっており、高齢者のうち要介護認定を受けた方が生活場所の選択を迫られる際に希望されていることが推測されます。（表5-3）

表5-3 生活場所の希望の有無

		回答者数	ある	ない	考えたことがない	わからない	無回答
全体	人数	1,528	603	235	261	338	91
	構成比		39.5%	15.4%	17.1%	22.1%	6.0%
市民	人数	240	73	28	66	64	9
	構成比		30.4%	11.7%	27.5%	26.7%	3.8%
高齢者(計)	人数	924	397	162	125	180	60
	構成比		43.0%	17.5%	13.5%	19.5%	6.5%
自立者	人数	291	108	55	54	60	14
	構成比		37.1%	18.9%	18.6%	20.6%	4.8%
総合事業対象者	人数	67	20	17	5	18	7
	構成比		29.9%	25.4%	7.5%	26.9%	10.4%
要支援者	人数	248	86	59	33	54	16
	構成比		34.7%	23.8%	13.3%	21.8%	6.5%
要介護者	人数	318	183	31	33	48	23
	構成比		57.5%	9.7%	10.4%	15.1%	7.2%
障がい者(18歳以上)	人数	364	133	45	70	94	22
	構成比		36.5%	12.4%	19.2%	25.8%	6.0%

1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字

(2) 希望する生活場所

市民意識調査で介護が必要になった場合に希望する生活場所が「ある」と回答された方に希望する生活場所を尋ねたところ、全体では「自宅」と回答した方の割合が最も高くなっており、特に高齢者（要介護者）では56.3%とその割合が高くなっております。なお、市民一般では「生活環境が整えば自宅」と回答した方の割合が最も高くなっております。（表5-4）

表5-4 希望する生活場所

		回答者数	自宅	生活環境 が整えば自宅	特別養護 老人ホーム	有料老人 ホーム	グループ ホーム	その他	わからない	無回答
全体	人数	603	285	151	60	46	18	23	6	14
	構成比		47.3%	25.0%	10.0%	7.6%	3.0%	3.8%	1.0%	2.3%
市民	人数	73	21	27	12	11		1	0	1
	構成比		28.8%	37.0%	16.4%	15.1%		1.4%	0.0%	1.4%
高齢者(計)	人数	397	195	102	48	35		5	3	9
	構成比		49.1%	25.7%	12.1%	8.8%		1.3%	0.8%	2.3%
自立者	人数	108	44	32	13	14		3	0	2
	構成比		40.7%	29.6%	12.0%	13.0%		2.8%	0.0%	1.9%
総合事業対象者	人数	20	9	5	2	2		1	0	1
	構成比		45.0%	25.0%	10.0%	10.0%		5.0%	0.0%	5.0%
要支援者	人数	86	39	18	13	13		1	0	2
	構成比		45.3%	20.9%	15.1%	15.1%		1.2%	0.0%	2.3%
要介護者	人数	183	103	47	20	6		0	3	4
	構成比		56.3%	25.7%	10.9%	3.3%		0.0%	1.6%	2.2%
障がい者(18歳以上)	人数	133	69	22			18	17	3	4
	構成比		51.9%	16.5%			13.5%	12.8%	2.3%	3.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



## 4 意思を表明する方法

市民意識調査で認知症や病気になって自分の意思を表明することが困難になった場合に備えて、自分の意思を表明する方法を考えているか尋ねたところ、「考えていない」と回答した方の割合が63.3%となっておりますが、障がい者（18歳以上）ではその割合が73.4%と高くなっております。（表5-5）

表5-5 意思を表明する方法

		回答者数	考えている	考えていない	無回答
全体	人数	1,528	454	967	107
	構成比		29.7%	63.3%	7.0%
市民	人数	240	66	161	13
	構成比		27.5%	67.1%	5.4%
高齢者(計)	人数	924	317	539	68
	構成比		34.3%	58.3%	7.4%
自立者	人数	291	119	162	10
	構成比		40.9%	55.7%	3.4%
総合事業対象者	人数	67	25	32	10
	構成比		37.3%	47.8%	14.9%
要支援者	人数	248	102	127	19
	構成比		41.1%	51.2%	7.7%
要介護者	人数	318	71	218	29
	構成比		22.3%	68.6%	9.1%
障がい者(18歳以上)	人数	364	71	267	26
	構成比		19.5%	73.4%	7.1%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

## 5 支援団体等調査

### (1) 障がい福祉サービス等事業所

#### ア 障がい者の地域生活における課題

- 買い物や行政手続の同行等を支援する必要がある。
- 障がいの有無に関係なく、交流できる場を整備する必要がある。
- 主たる介護者の高齢化により、介護ができなくなったときの対応方法を検討する必要がある。
- 24時間対応できるサービスが少ない。
- 地域住民の方に、障がいに関する啓発をする必要がある。
- 地域の中で、1人で生活を「試す」ことができる場所があると良い。
- グループホームや緊急時の受け入れ先を整備する必要がある。
- 障がいに対応するヘルパーが不足している。
- 災害時への対応を検討する必要がある。

#### イ 障がい者の契約や財産管理に関する課題

- 財産管理についての準備、意思決定をスムーズに行える体制づくりが必要である
- 親亡き後の成年後見人等と、生活支援にかかる役割分担を明確化する必要がある。
- 介護者の方が安心して「終活」できるような支援体制を確立する必要がある。

#### ウ 成年後見制度や地域福祉権利擁護事業等の利用をためらう理由

(そもそもの周知がなされているか?)

- 成年後見制度は手続がハードル高く、費用がかかる。また、相続税の関係から市内に多くいる土地所有者は使いづらい。
- 地域福祉権利擁護事業等は時間がかかり、また、利用者数が飽和状態となっている。
- 本制度の周知が不十分である。

## (2) 当事者団体

ア 成年後見制度や地域福祉権利擁護事業等の利用をためらう理由

(そもそもの周知がなされているか?)

- 費用がかかる。
- 事業の周知が不足している。
- 成年後見制度は利用しづらく、本人の希望する生活が実現するために制度を利用することができない。
- 地域福祉権利擁護事業を重点的に利用したい。